

土木学会 複合構造委員会 第3回委員会 議事録(案)

1. 日時:平成18年6月1日(木) 15:00~18:00
2. 場所:土木学会 EF 会議室
3. 出席者:園田顧問、上田委員長、中島副委員長、大垣幹事長、市川委員、上平委員、熊谷委員、小林(朗)委員、佐々木委員、佐野委員、島委員、滝本委員、長沼委員、野村委員、三ツ木委員、向山委員、森委員(代理:中井)、杉浦委員、中村委員、古市委員、横田委員、渡辺委員、西崎幹事、大山幹事、武知幹事、山口幹事、鈴木オプザーバー、川島事務局員(計28名)
4. 配付資料
 - 資料 3-1 第2回複合構造委員会議事録(案)
 - 資料 3-2 第5~7回複合構造委員会幹事会議事録
 - 資料 3-3 「複合構造物の性能照査指針小委員会」活動報告
 - 資料 3-4 「複合構造物の現状調査小委員会」活動報告
 - 資料 3-5 「維持管理小委員会」活動報告
 - 資料 3-6 「新材料による複合技術研究小委員会」活動報告
 - 資料 3-7 「FRP 複合橋梁小委員会」設立趣意書
 - 資料 3-8 「複合材料による補修・補強小委員会」設立趣意書
 - 資料 3-9 複合構造物の性能照査例の講習会について
 - 資料 3-10 日韓ジョイントセミナーについて
 - 資料 3-11 土木学会平成18年度年次講演会研究討論会案
 - 資料 3-12 複合構造委員会 HP 報告
 - 資料 3-13 複合構造委員会予算について
 - 資料 3-14 その他資料

5. 議事内容

(1) 委員長挨拶

上田委員長より、委員会開催に先立ち挨拶がなされ、委員各位に複合構造委員会活動への協力の要請がなされた。

(2) 第2回議事録確認

大垣幹事長より前回議事録(資料3-1)が読み上げられ、確認を行った。「(7)性能照査照査指針」を「(7)性能照査指針」への修正が指摘された。また、資料3-2の幹事会議事録については、参照資料として紹介された。

(3) 研究小委員会活動報告(資料 3-3~資料 3-6)

小委員会活動に関して、報告が行われた。

複合構造物の性能照査指針小委員会

中村小委員会委員長より、資料 3-3 に基づいて活動状況が報告された。

複合構造現状調査小委員会

上平小委員会幹事長より、資料 3-4 に基づいて活動状況が報告された。設計・施工データの収集中であるが、得られた問題点や課題に関しては指針小委員会と情報交換したいとの意向が表明され、中村指針小委員会委員長も同意した。また、成果物としては現在の 9A/9B と同じく基礎編と応用編を予定しているとの説明があった。

上平幹事長より、活動期間を 2 年間で予定しているが 3 年間に延長することは可能かとの質問が出され、上田委員長より必要であれば延長は可能であるとの見解が示された。

維持管理小委員会

杉浦小委員会委員長より、資料 3-5 に基づいて活動状況が紹介された。

新材料による複合技術小委員会

上田委員長より、資料 3-6 に基づいて活動状況が紹介された。中島副委員長より、活動報告会を複合シンポジウムに組込めないかとの提案があった。長沼委員より、シーズ側あるいは発注者の視点からも取り組むべきとの意見があった。

小委員会報告書の書式

小委員会活動報告の様式を見直すべきとの意見が出された。

(4) 新設研究小委員会について(資料 3-7~資料 3-8)

F R P 複合橋梁小委員会

西崎幹事より、資料 3-7 に基づいて設立趣意書が説明され、承認された。また、構造工学委員会での活動成果が紹介された。出版予定の「F R P 歩道橋設計マニュアル」に関しては、目次までは構造工学委員会での活動成果となるが、本文は複合構造委員会での活動成果となると説明があった。なお、長沼委員より F R P 構造の弱点も明示すべきとの意見が出された。

複合材料による補修・補強小委員会

鈴木オブザーバーより、資料 3-8 に基づいて設立趣意書が説明された。設立目的は妥当であり、本小委員会の必要性は承認された。ただし、タイトルと趣意書本文との整合性がとれていない箇所がある、他の小委員会(維持管理小委員会、F R P 複合橋梁小委員会、新材料による複合技術小委員会)との棲み分けを明確にする必要がある、などの指摘がなされた。また、滝本委員および市川委員より、F R P 以外の新材料も含むのか、対象構造は鋼構造のみか鋼・コンクリート複合構造を含むのかについても不明確であるとの指摘があった。

これらの指摘をふまえ、鈴木オブザーバーは設立趣意書を修正し、それを幹事会で再

度確認した上で委員各位にメールすることとした。なお、連絡幹事は山口幹事をお願いする予定あることが報告された。

(5) 複合構造物の性能照査例講習会 (資料 3-9)

渡辺委員より、資料 3-9 に基づいて、大阪 (6/16) と札幌 (7/7) で開催される「複合構造物の性能照査指針(案)に基づく照査例の講習会」についての詳細が紹介された。

(6) 複合構造物の性能照査指針 (英文) と日韓ジョイントセミナーについて (資料 3-10)

横田委員より、複合構造物の性能照査指針 (英文) が出版されたことが報告された。

また、資料 3-10 に基づいて、協定学協会との共同セミナー開催に対する助成金を受けたことに伴い、日韓ジョイントセミナーが開催される予定であることも報告された。なお、中島副委員長より、「平成 18 年度重点研究課題 (研究助成金)」に応募していた「鋼・コンクリート複合構造の性能照査に基づく設計基準の国際化」が採択されたことが報告され、この研究課題も日韓ジョイントセミナーに組み込まれる予定であるとの説明があった。

園田顧問より、海外との技術交流は大変望ましいことであり、今後、中国との技術交流も視野に入れるべきとの意見が出された。さらに、上田委員長より、幹事会において、海外との交流全般を計画・運営する小委員会の設置が望ましいとの意向が示され、横田委員兼幹事が方針案を策定することとなっているとの報告があった。

(7) 年次講演会研究討論会について (資料 3-11)

大垣幹事長より、資料 3-11 に基づいて平成 18 年度年次講演会での研究討論会は、「インフラ構造物の維持管理における複合新技術の利用」の題目で開催されるとの報告があった。

(8) HP について (資料 3-12)

大垣幹事長より、資料 3-12 に基づいて、複合構造委員会のホームページに掲載されている委員名簿が紹介された。

(9) 委員会予算について (資料 3-13)

大垣幹事長より、資料 3-13 に基づいて委員会予算が紹介された。

(10) 各協会、法人からの連絡 (資料 3-14)

- ・上田委員長より、「革新的構造材料の土木分野への活用」に関する講習会が紹介された。
- ・西崎幹事より、国交省の建設技術に関する助成金が「革新的材料を用いた社会基盤施設の再構築」に授与され、実際の研究は F R P 小委員会の W G で実施する予定であるこ

とが報告された。

- ・佐々木委員より、「鋼構造と橋に関するシンポジウム」が紹介された。
- ・大垣幹事長より、「第5回道路橋床版シンポジウム」が紹介された。
- ・中井委員代理より、「プレストレストコンクリートの発展に関するシンポジウム」が紹介された。
- ・園田顧問より、鋼構造協会にて Hybrid 構造の接合部の設計調査に関する委員会（土木部門長：園田顧問）が活動していることが報告された。

(11) その他

次回の委員会は12月22日15時に開催される予定である。

(12) 中島副委員長の特別講演（17:30-18:00）

中島副委員長より「性能照査例の共通編について」と題する特別講演があった。

以上

（中村 記）